

表面の六文字目は、「升」の可能性もあるが、筆の運びと名前として相応しないことから、「村」とした。裏面の二行目の「国」は、くがまえがはつきり確認でき、「図」は「郡図生」の「図」の運筆との類似から、「図」と判断した。また、「男」の下にもう一字痕跡が認められることから、「勝」はカバネの「すぐり」と判断し、「男□」を名と判断した。国図生とした場合、日下に署名する実務官人の郡図生に比して、国図生が一行目の「九」に相当するやや高い位置から書きはじめられていることは興味深く、文書の一般的な書式が反映されているかに思われる。典型的な文書木簡といえよう。

木簡の内容から、土地の争いに際して、国が「国図生調勝男□」を、郡が「郡図生刑部忍国」を現地に派遣し調停したことが知られる。木簡の表面が風化し文字の部分が浮き出た状態であることから、田圃の境など野外に公示し、占有地の範囲や境界を明確に示そうとした可能性も考えられる。

(谷口俊治)

# 『木簡研究』在庫状況のお知らせ

頒価

一～四・七号	品切れ	五・六号	三五〇〇円
八～二五号	三八〇〇円	一三三号	四三〇〇円
一四・一五号	四五〇〇円	一六～二三号	五五〇〇円
二四号	五〇〇〇円	(五・六号は残部僅少)	

送料

一冊	六〇〇円	二冊	八〇〇円	三冊	一〇〇〇円
四冊	一二〇〇円	五～一〇冊	一五〇〇円		
一一～二〇冊	二〇〇〇円				

◇個人でのお求めは代金前納です。代金と送料を郵便振替  
〇一〇〇〇—六一一五二七 木簡学会  
までお送りください。

◇公的機関の場合は代金後納で結構です。  
左記の銀行振込か右記の郵便振替でお願いします。

口座番号 みずほ銀行西大寺出張所

普通預金 一一一〇三一五

口座名 木簡学会 佐藤宗諄(さとう そうじゅん)

お問合せは左記へどうぞ

〒六三〇—八五七七 奈良市二条町二一九—一

奈良文化財研究所平城宮跡発掘調査部史料調査室気付

木簡学会

電話 〇七四二—三〇—六八三七